



いいで町

160号

# 議会だより



親子クリスマスケーキ作り（中部地区公民館）

## 12月議会(第8回定例会)

年頭のご挨拶	P 2
定例会概要・条例・請願	P 3
一般質問	P 4～7
特別委員会設置	P 8
各常任委員会	P 9
みなさんと語る会	P10～P13
議会傍聴	P15



## 年頭のごあいさつ

議長 後藤 恵一郎

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様方には、希望に満ちた平成二十八年の新春を晴れやかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

日頃より議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、衷心よりお礼を申し上げます。

さて、昨今の我が国をめぐる情勢は、国内国外を問わず、非常に目まぐるしく変化しております。国内においては、復興対策、TPPをはじめ、稲作の減反政策の見直しなどの諸問題があります。

本町においては、基幹産業である農業の振興や、特産品の開発や商工業の活性化、住民福祉向上のため、住環境の整備、高齢者や障がい者福祉の充実、少子化対策等を実施し、また、飯豊町の将来を担う子ども達のため、教育振興策の一環である「いいで希望塾」を継続し、学力の向上を目指しております。

議会におきましても、昨年12月定例会で議会活性化調査検討特別委員会を設置し、議会活動を積極的に、自らの改革にも取り組み、飯豊町発展のため、課題解決に向けて日々努力を重ねております。21世紀の分権時代の更なる推進に向け、地方再生が求められる今日、地方自治体の自主自立が一層重要となります。

町民の皆さまの負託に corres ponding することを目指し、今後も不断の決意をもって議会改革を果たしてまいります。そして、「まちづくり」の主役は町民の皆さまであります。町民の生活拠点を念頭に、住み良いまちづくりのために全力を尽くしてまいります。なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆様方にとって、実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 山形大学飯豊研究センター開所



## 定例会概要

平成27年12月定例会は、12月8日から15日までの8日間開催しました。一般質問は4名、一般会計及び特別会計合わせて9件の補正予算、条例関係5件、その他3件、人事1件、一般会計補正予算1件を追加審査し、いずれも全会一致により可決しました。

また請願1件は、賛成少数により不採択となりました。  
議会活性化調査検討特別委員会を設置しました。

### 新たな条例

◆飯豊町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

◆マイナンバー法に基づき、行政関係課が利用できるよう定めたものです。

特別会計を統合するものです。

◆飯豊町介護保険条例の一部改正

◆マイナンバー法の施行に伴い、文言を改正したものです。

### 改正する条例

◆議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

◆飯豊町特別会計条例の一部改正

◆農業集落排水特別会計と生活排水個別処理

◆戦争法（平和安全保障関連法）の廃止を求める意見書提出の請願

◆賛成少数により不採択となりました。

### 請願

請願者

西置賜革新懇話会  
代表世話人 今泉義憲

審査の結果  
賛成少数により  
不採択となりました。

◆TPP交渉「大筋合意」は撤回し、調印・批准しないことを求める請願

請願者

置賜農民連  
会長 小林茂樹  
審査の結果  
継続審査にしました。

### 人事

◆継続審査中の「平和安全法制法案」の撤回・廃案を求める意見書提出については請願を取り下げとなりました。

人権擁護委員の定数が増員されたことから次の方を推薦しました。

氏名 高橋 敏夫  
住所 飯豊町高峰

### 工事負債契約の一部変更

◆飯豊町立第一小学校改築工事（債務負担行為）

契約金額23億6088万円を23億9287万円に変更となりました。設計の一部を変更して実施する必要があるためです。

◆飯豊町起業支援施設整備事業第2期工事

契約金額5億7240万円を5億7810万円に変更となりました。設備費の増額によるものです。

一般質問

# 活気あるまちづくりのために



鈴木敏夫議員

- 新たな農業基本計画の策定は
- 商店の活性化策について
- 職員の資質向上策は
- ふるさと納税について

質問 新たな農業基本計画の策定は。

連携深め、農業振興

町長 現行の飯豊・農の未来事業策定時には町農業の抱える課題や農業振興策を加味し農業関係者に意見を求めるなど、農業基本計画と同等のものとして定めたと認識しています。この事業に基づき町民

や農業関係との連携を深めながら、より一層の農業振興に取り組んでいきます。

新しい商店への支援を検討

質問 商店の活性化策は。  
町長 中小企業振興事業補助金の来年度の取り組みに向けた見直し作業を行っています。

その中で町内購買力の町外流出が続いていることから、地域の新しいインフラとしての商店への支援ができませんか検討しています。

質問 職員の資質の向上策は。

新たな人事評価制度を導入

町長 平成28年4月から新たな人事評価制度を導入します。その人事評価の役割としては職員の「いまの状態」を知り評価し、それに基づいて人事政策に役立てるといふ役割「人材をより適正に配置する」「人材をより有効に活用する」「人材をより公平に処遇する」など人事管理上の目的を実現することを資する役割や職員の行動を変えるという役割もあ

ります。さらに職員の資質向上に努めていきます。

質問 ふるさと納税について、お礼の見直しもあるの、声もあるが。

一定の節度の中で対応

町長 本年度の特産品は公募で決定するなど

適正な制度運用に努めています。  
平成27年度の寄附金額は、昨年度同時期と比較し、約1.5倍のペースで推移しています。今後も、ふるさと納税により本町を全国にアピールしていきます。



## まちがにぎわい 飯豊も晴れる

## 一般質問

# 夢のある住み続けたい町に



長沼桂子議員

- 人口減少の歯止め策は
- 子育て支援策について
- 3年後の財政状況は
- 町長3期目への挑戦は

克雪については、以前に設置した融雪パネルを実証検討します。

質問 子育て医療制度を高校生まで対象に拡大できないか。また働く母親の職種も多様化している現在、病児保育や病後児保育の実施など、保育のあり方を見直す時期では。

及び将来負担比率が悪化しているが、3年後の財政状況の見通しは。

### 町有財産の有効活用や 事務事業の見直しで

質問 町民が望む、夢のある住み続けたい町にするのは、やるべきことがたくさんある。町長は、この状況をどのように捉え、3期目へ挑戦する考えは。

### 3期目も挑戦し 評価を得る仕事を

町長 26年度決算と30年度の財政状況を比較すると、実質公債費率では2%改善しますが将来負担費率は124%悪化する見通しです。また、町税や地方交付税などの収入が減少する傾向にあるので事務事業の見直しを行い、効率的な町政運営を行っていきます。

町長 いろいろな種を咲かせ、結実するまでに至っていないので3期目に挑戦し、町民の皆様にも評価していただけるよう、全力で取り組みますので、ご指導願います。

### 病児・病後児保育の 実施に向け検討

町長 医療費の無料化を18歳までに引き上げることは、長期的に多額の財政負担を伴うことから、慎重に判断すべきものと考えます。

また、病児・病後児保育については、つばき保育園増改築構想の中で検討していきます。

質問 人口の減少は過去5年間で約700人となっている。

町長 住宅団地については、各地域から要望がありますが、それに加え、中央部に大きな団地の造成も検討していきます。

魅力のある町にし住み続けてもらうためには、雇用の拡大、住宅用地の造成、克雪のための施策が必要と思うが、どのような施策を講じられるのか。

働く場所は町内にはたくさんありますが、ゆとりを持って暮らせる仕事が少ないので今後蓄電デバイス研究中心ターを活用した企業の進出に期待しています。

### 今までの施策の 方向転換が必要

質問 地方債残高比率



子供たちに明るい将来を

一般質問

# 安全で安心して暮らせるために



古山 繁巳 議員

## ○ 災害に強い町 ぐいぐいに

質問 今後想定できる災害のうち、発生する可能性の高いと想定されるゲリラ豪雨等への対策は。

質問 身近な災害に火災があるが、その消火水の確保は考えているのか。

### 公共施設等に土嚢を常時配置

町長 気候に左右される災害でゲリラ豪雨等に対し、迅速な対応をするため、町内5か所の公共施設等に1100袋の土嚢を常備配置して、排水路等の氾濫に備えています。

### 消火栓・防火水槽で

町長 町内に消火栓154カ所、防火水槽161カ所に対応しています。隔年で3基程度の防火水槽を新たに設置しています。

質問 消火栓や防火水槽だけでなく、冬期間の水源確保のために沼

や、農業用ため池などの利用は考えられないか。

### ため池等の通水を検討

町長 ため池等は各地区にあります。維持管理は町で行っていますので、調整を図りながら通水の検討を行っていきます。さらに農業用水の通年通水が出来るよう関係機関に要望中です。

質問 町民の方々が現在の防災マップでは活用しにくい。内容の再検討を考えていないか。

### 地域ごとの利活用を

町長 防災マップの再発行は考えていませんので、各地域ごとの利活用をお願いします。



改修が必要な黒沢地内平田沼 へたざわ

## 一般質問

# 低炭素社会実現に向けて



菅野富士雄 議員

### ○防犯灯のLED化の促進を ○林道・作業道の整備促進を

質問 国は、7月にCO<sub>2</sub>を含む温室効果ガス削減目標を2030年までに26%減と正式に表明した。その中で、低炭素社会実現に向けてLED照明導入を自治体が積極的に行えるよう支援できないか。

そこで、町内の防犯灯のLED化を、国等の支援を受け早期に実施する計画はないか。

#### 有効な手段である

町長 温室効果ガスの削減が進まない状況の中、LED照明化は有効な手段です。

環境省の支援事業や近隣自治体で導入しているメンテナンス付リース事業を検討したいと考えています。

質問 防犯灯の設置・管理は、町と集落等による2つの形態がある

が、LED化促進のために一本化できないか。

#### 早道は一本化

町長 25年より、補助事業も含め、町・集落等の防犯灯のLED化に努めています。ただ普及率は10%です。

今後は町内の1500基の防犯灯を、設置要綱に基づきながら全て町管理にする方向で検討します。

質問 二酸化炭素排出削減が叫ばれてから久しい。そこで、二酸化炭素の吸収量の高い里山の再編整備が必要である。随時活用できるように道路網を整備すべきである。

山腹崩壊や林道の欠損など早期に復旧すべきでは。

#### 大気中のCO<sub>2</sub>削減に効果がある

町長 地球温暖化防止の観点から、森林整備は重要です。保全にはアクセス道路が欠かせないものであり、森林

整備計画などに位置付けながら、県・森林組合等の関係機関と連携し、進めていきます。さらに町内産木材の活用や、木質バイオマス事業も視野に入れCO<sub>2</sub>削減に努めていきます。



整備がもとめられる林道

**観光推進・町内温泉施設に交付**

歳入では町民税2640万円(法人1000万円・個人1640万円)、国庫支出金6573万円、県支出金1186万円の増額、繰越金3784万円、町債(小学校事業債)1770万円が主なものです。

歳出の主なものは、地方創生先行交付金7363万円(過去5年分の入湯税を交付)、国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金950万円、時間外勤務手当(一般会計316万円、特別会計合計163万円)などです。

**平成27年度 補正予算**

会計別		歳入歳出予算
一般会計		74億4412万円 (2億2941万円の追加補正)
国民健康保険	事業勘定	9億819万円 (596万円減額補正)
後期高齢者医療特別会計		7627万円 (259万円減額補正)
介護保険特別会計		11億4181万円 (69万円追加補正)
介護老人保健施設特別会計		3億1644万円 (210万円減額補正)
農業集落排水特別会計		5億6376万円 (50万円追加補正)
添川財産区特別会計		383万円 (74万円の追加補正)
中津川財産区特別会計		568万円 (73万円の減額補正)
水道事業会計		2億162万円 (880万円追加補正)

(歳入)

町民税	2640万円
地域活性化支援交付金	5000万円
学校施設整備補助金	1214万円
子ども子育て支援交付金	496万円
物品売払い収入	715万円
ふるさと寄付金	5000万円
雑入(置病組合負担返還金など)	1465万円

(歳出)

地域創生先行型交付金	7363万円
自然・文化と蓄電のまちづくり	5200万円
ふるさと納税特典報償費	2063万円
介護サービス安定化補助金	430万円
道路維持(除雪費)	524万円
町内産木材利用促進事業	480万円
さゆり・つばき保育園トイレ改修	760万円

**飯豊町議会**

**活性化調査検討特別委員会を設置**

☆設置の目的

地方議会議員選挙への関心の低さから、無投票当選が全国的に多い現状であり、また、昨年7月に実施された本町議会議員の選挙においても無投票がありました。

地方政治への関心を高め、地方選挙、地方議会の活性化について調査検討することを目的とします。

☆委員会の構成

議長を除く全員

委員長 嶋貫 栄助

副委員長 鈴木 敏夫





# 総務文教常任委員会

## 各課からの報告

### 教育文化課

手ノ子スキー場開きは、12月26日で3月6日まで営業します。

### 質問と答弁

問 鈴木委員 手ノ子スキー場の決算状況は、

答 総合センター所長

最盛期の売り上げは、約600万円で平成26年度は約200万円でした。人件費が600万円を超えますので、不足分は町費で対応しています。

問 井上委員 消防団員手当の増額を。

答 町長 団員の処遇改善を図るため、新年

度予算で検討します。

問 遠藤委員 町内に

就労の場が少ない。大規模な工業団地化と、添川温泉を活用した住宅団地の推進は。

答 町長 住宅団地造成は、各地区から要望

がありますので、広い視野で検討します。

問 長沼委員 複数の

課に及ぶ業務があるが課設置条例を見直す考えは。

町長 適材適所に取り

組み、新年度から人事配置・機構改革を実行していきます。

問 後藤委員 集落の

維持の取り組みと、防

災ラジオ加入の考えは。

答 総務企画課長 地域再生マネージャー事

業を昨年から実施し、取り組みのあり方、実態調査を進めています。

町長 FMラジオに加入

すると、設置費用と維持管理費が発生しますので、これから判断させて頂きます。

問 菅野委員 自然・

文化と最先端科学技術が融合するまちづくり事業の所管課はどこか。

答 町長 交付金申請

は商工観光課で、予算課の連携を深めながらオーロルいいで取り組んでいきます。

# 産業厚生常任委員会

## 各課からの報告

### 農林振興課

◆平成27年産米の生産目標は達成しました。中間管理機構（農地の中間的受け皿）より、

離農者・農地集積者な

どに、総額2010万円を3月末までに支払予定です。

### 商工観光課

◆ゆり園の入園料最高額を610円から860円に値上げを検討しています。町民の皆さんには、各家庭に無料券を配布しています。

健康福祉課

◆高齢者に元気で過ごしていたくため各地区で、生き生き100歳体操、健康元気飯豊

町ポイント事業、お出かけ見守り事前登録制度、また、高峰・手ノ子地区で見守り配食サービスを、12月から3月末まで行います。

も長く勤めて頂ける医師を探せないか。

答 健康保険診療所事務

長 毎年医師が変わることにより、患者に不安があるのではと思います。

医師の確保が難しい状況です。自治医大の医師は長く居られませんが、地域医療のモデルにしていきたいです。

### 質問と答弁

問 古山委員 新水源

地完成後、料金が上がるのでは。さらに通年通水はできないか。

答 地域整備課長 料

金の改定は平成29年度を目途に、5%上昇の予定です。

通年通水は、長井市と協議しながら、考えていきます。

問 菅野委員 椿診療

所の外来患者数が減少している。原因を分析しているのか。定年後

問 嶋貫委員 プレミアム商品券発行の周知

が不十分では。子育て支援分は何セットか。

答 商工観光課長 発

行の周知方法が不十分でしたので今後、商工会と相談をします。

子育て支援分は、81世帯162セットです。

## みなさんと語る会

# 公民館は地域づくりの拠点

### 消防飯豊分署 設置場所の 決定過程と対応は

問 消防飯豊分署が飯豊分校跡地に決定した過程は。

また残地はどのように活用するのですか。

答 町は旧飯豊中グラウンド跡地との考えでありました。議会としては、遊休地の活用と周辺環境を考慮して、分校跡地が適地であると提言し、町と協議の上、決定しました。残地については、人口減少、定住対策を目的とした活用を望んでいます。

### 地区公民館の 運営は

問 地区公民館は平成28年3月末で指定管理

が終了します。その後の管理運営をどのように考えていますか。

答 公民館の社会教育生涯教育の場へ、さらに地域づくりの拠点としての役割の強化、向上を目指し、検討しています。現在の指定管理制度については、再検討します。

### ふるさと納税を どう活用

問 返礼品として支出した残金は、どのように活用していますか。

答 ふるさと納税金額の約半額を返礼品として支出し、残金は事務手続や臨時職員の人件費に充当しています。残りは基金に積み立てし、有効に活用しています。

### 在宅介護支援策は

問 在宅介護は、老老介護や離職介護につながり孤立化しやすい。今後一層深刻化するのではと心配しています。また、障がい児童への対応について伺います。

答 民生委員を中心に地域の方々に支えていただく必要がでてきます。在宅介護への支援も必要と思えますので国への制度見直しを含め働きかけていきます。また、障がい児への対応については、養護学校への送迎支援を行っていきます。

### 山大研究センター どう活用

問 旧和光電気跡地山

形大学工学部の蓄電池バイス開発センター設置に多額の町負担をしましたが、雇用など町民へのメリットをどう考えていますか。

答 町費負担は、国へ

の陳情により有利な過疎債が適用されました。当初からのメリットは少ないですが、関連企業への働きかけを積極的にを行い、支援等を進めたいと考えています。



人気の返礼品

## みなさんと語る会

# 活力ある農業対策を

### 認定こども園の説 明は

問 認定こども園は平成28年4月からスタートするということですが、まだ説明が不十分です。実施できるのかその内容について伺います。

答 さゆり保育園と中部幼稚園を利用し、3才児以上が中部幼稚園、3才未満をさゆり保育園で預かり、この2園を合わせ、認定こども園としていきます。また、保護者への説明は順次行っています。

### 住宅団地造成の 見通しは

問 添川に温泉付き住宅団地構想は、3年前青写真を町に提出しています。温泉の廃湯で

消雪ができる住宅団地として、ぜひ検討できませんか。

答 住宅団地については、町と協議して、検討させていただき、また温泉付き、廃湯の利活用についても、町に提言していきます。

### 町管理防犯灯の 今後の対応は

問 通学路への町管理防犯灯の設置をお願いします。また、LED化を含め今後の対応について伺います。

答 防犯灯は、町設置型と地域設置型の2つがあります。通学路は町設置型で、優先して設置しています。LED化については

国等の補助金を活用し整備するよう提言して

います。

### 農業問題 今後の動向と対応は

問 TPPは大筋合意されましたが、町の影響と課題は、どうとらえていますか。

答 農業を守るために農家への補償を国に求めていきます。そのためにも、陳情活動を積極的にを行い、町内農家の実情を説明し支援を求めていきます。合意後の農産品については高度な技術で良いものを生産し、海外への販売を視野に入れるべきと考えます。

### どう対応する 議会活性化対策

問 議員の定数削減の折、議員報酬を上げる

話しがありました。議員報酬の低下がもたらしている。議員報酬の低額も一因と考えられます。今後特別委員会を設置し、議会に関心をもちたいだけ。調査、検討していきま

か。答 今回議会議員選挙は、無投票当選となり。調査、検討していきま



元気な子どもたち

# みなさんと語る会

# どうする人口減少問題



どう活かす遊休施設

## 町有の遊休地・遊休施設どう活用

問 遊休地、遊休施設調査研究検討特別委員会の結果は。

答 町で所有すべきでない、農地や、原野などが残っており、現地

を調査し把握する必要がある。また精査し売却も視野に検討する必要があります。

また、大規模な遊休地については、消防飯豊分署、文教施設、住宅団地等に利用するよう提言しました。

## 人口減少対策は

問 町政全般については人口減少問題を抜きに語れません。どうとらえていますか。

答 全国的に深刻な課題であります。雇用の場の確保が必要であり山大研究センター関連企業誘致にも期待しています。また、住宅地の確保・子育て支援の強化、克雪対策が必要と考えます。

## 地方創生の対策は

問 国の地方創生戦略を町政にどう活かしていきますか。

答 町では総合戦略及び人口ビジョンを策定しました。総合戦略で

は、町の特性を活かした事業が掲げられ、人口は2060年に5千人と目標を設定しました。

絵に描いたモチにならないように注視していきます。

山形県飯豊町「まち・ひと・しごと創生総合戦略」全体像【平成27年度～平成31年度】

### 5つの種をまこう。

期待は「理想郷」に「理想郷実現」に続く転換期にあります。時代はまさに大きな転換期を迎えようとしています。今、真摯な覚悟としっかりと覚悟を継ぎ、次の時代の方向を定めた道程を歩みます。そのために、私たちは期に前線へ向けた「種をまく人」であるべきと考えます。

人口減少と多子化、高齢化、都市の再編、過疎化による集約の進展など、多くの人の課題に直面し取り組んでいくため、総合戦略の5つの種を目標を掲げ、土を深く耕し、

状況に応じて、種をまき、水をまき、種もれもたれも力強く育てていかなければなりません。自然減りも減少や移住による増加増を目標として、地域住民と人口減少に対する危機感を共有します。地域独自の魅力を深掘りして個性化対策や、教育、医療、子育て支援などの取り組みを行い、ゆとりや誇りなどの心の豊かさが実現できるまちづくりを目標とします。人を育て、教育に熱心、社会に関わり、社会に貢献する「力」の投入を意図的に進めます。

5つの種をまこう。

01 人をはぐくむ種  
02 世代をつなぐ種  
03 縁をつむぐ種  
04 郷土をたがやす種  
05 可能性をひらく種

目標人口  
2010年 7,943人 → 2060年 5,000人

独立社会機構・人口問題研究所の推計では、当町の平成27(2015)年の人口は3,388人とあり、平成22(2010)年比、も著しい減少となります。人口減少に備えるための対策を講じ、減少を一定水準に留め、平成27(2015)年には5,000人程度の人口を維持することも目指します。この場合、高齢化率は29.5%程度に抑えられる見込みです。

## みなさんと語る会

# 数々のご意見、いただきました。

ご叱責・励ましの言葉、ありがとうございました。

問 インターネットの議会中継をご覧になったことがありますか

回答項目	回答数	構成比	昨年回答数	構成比
あ る	30	24.4%	37	24.0%
な い	87	70.7%	114	74.0%
無 回 答	6	4.9%	3	1.9%
合 計	123	100.0%	154	100.0%



語る会

問 本日の議会報告会についていかがだったでしょうか。

回答項目	回答数	構成比	昨年回答数	構成比
良 かった	50	40.7%	59	38.3%
ふ つ う	49	39.8%	78	50.6%
良くなかった	4	3.3%	5	3.2%
無 回 答	20	16.3%	12	7.8%
合 計	123	100.0%	154	100.0%

問 議会だよりについて お読みになったことはありますか。

回答項目	回答数	構成比	昨年回答数	構成比
毎 号 見 る	83	67.5%	98	63.6%
時 々 見 る	35	28.5%	49	31.8%
見 な い	2	1.6%	5	3.2%
無 回 答	3	2.4%	2	1.3%
合 計	123	100.0%	154	100.0%

## 多くの方に参加いただきました。

日 程	開催場所	H27 参加者数 (人)	H26 参加者数 (人)	増減	内 訳				回答者数 (人)	回答率
					H27 男性	H26 男性	H27 女性	H26 女性		
11月4日	高峰地区	19	14	5	19	14	0	0	14	73.7%
11月5日	萩生地区	14	17	△3	14	17	0	0	11	78.6%
	東部地区	14	17	△3	14	16	0	1	14	100.0%
11月6日	黒沢地区	20	23	△3	20	23	0	0	15	75.0%
	小白川地区	20	19	1	20	18	0	1	14	70.0%
11月10日	中地区	26	28	△2	26	23	0	5	17	65.4%
11月12日	椿地区	8	15	△7	8	15	0	0	8	100.0%
11月13日	手ノ子地区	31	25	6	29	23	2	2	21	67.7%
	中津川地区	9	10	△1	9	10	0	0	9	100.0%
合 計		161	168	△7	159	159	2	9	123	76.4%

# 議員活動を地方創生に

## 議員研修

議会自主研修会

### 笑う門には

### 福が来る

1月8日町民総合センター「あぐす」を会場に、毎年開催している議会自主研修会を呑百笑燦塾長（代表戸締役家長）井上太氏を講師にお招きし「地域の融和と絆は笑いから」と題して講演いただきました。

正月から笑うと1年間明るく過ごす事ができ、口を聞けて腹の底から初笑い、更に笑う事で健康寿命が長くなり家庭と地域が円満になり、大笑いした人は必ず地域の融和と絆がつながるとのことでした。

井上太氏は現在、県

高齡者福祉支援協会顧問・社会福祉法人輝きの会監事・福寿の里理事等多数の公職を持ち介護予防、生きがい対策などのために笑いを中心とした講演活動を行っている方です。なお健康寿命をのばすための必要な事は、脳のトレーニングと筋力トレーニングが、大切であり、普段の生活の中で礼儀を重んじ言葉使用に注意しおたがいに支え合いながら生きて行ける社会で笑いを取り入れる事で地域の絆は強くなるとの講演をしていただきました。

町村議員研修会

### 人口減少時代・

### 日本の農業は

県町村議会議長会主催の議員研修会が10月19日山形国際交流プラザで開催されました。首都大学東京大学院大杉覚教授による「人口減少時代における自治体のあり方」と、東京農業大学、金田憲和教授の「日本農業の国際競争力を考える」と題して2名より講演をいただきました。

議会要望活動

### まち・ひと・

### しごと創生

10月27・28日の両日、県選出国会議員に対し町長と議員全員で陳情を行ってきました。また、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局職員より地方創生を巡る最新の動きのお話を伺いました。「まち・ひと・しごと創生」について長期ビジョン・総合戦略など政策について説明をいただきました。



講師 井上太氏

# 議会を傍聴して



## 町民の声

横山利一氏

飯豊町の夜は、都会と違い、車の音も人の声も少ない。

静かな澄み切った冬の星空が、夜の闇を支配して、一日の仕事の疲れを癒してくれる町の星空と、散居集落の夜明けも好きだ。

12月8日に開かれた町議会を傍聴し、4人の議員が一般質問した。活気ある産業の町づくりのために、町の新たな農業基本計画と、町の農業を抱える課題等、商店の高齢化対策などの質問があった。災害に強い町、安心して暮らせる町にするにはどうするか、冬の防災用水確保、風水害対策についても、活発な意見が交換され

た。

夢ある住み続けたい町にするにはどうするのか、働く場と雪対策、住宅団地計画や、今の町では何が欠けているのか、人口減少と少子化、高齢化、人口増加対策等についても質疑応答もあった。

防犯灯等のLED化推進と、里山林道、作業道整備促進を、議員4人からの一般質問に町長、担当課長が、丁寧にきびきびとした答弁に町議会の資質の向上を感じた。

今、町では、人口減少、少子化、高齢者対策、起業支援施設整備事業や雇用問題等が山積みしている。

議会の新しいアイデアでその可能性に期待し、住み慣れた地域で安心して生活を続けるには今私達は、何をす

べきかを感じた議会傍聴でした。

町民が安心、安全な生活のために、常に将来に向けた多くの課題に取り組み奮闘する町議会を、ぜひ皆さん傍聴しましょう。

## 町民の声

(一町民)

### 議会を傍聴して

新しい議員が選出されてから、初めて議会の傍聴をした。新議員三名、再選出議員一名超ベテラン議員六名の十名の構成であるが、特に新議員については、一町民として期待するものが大である。なぜなら、町民のために活動したいという思いが、極めて大きいのではないかと思われるからで

ある。活発な議論に徹してほしいものである。さて、傍聴の感想であるが、質問議員は別として、関係のない態度で「ねぶかき」しているように見受けられる議員がいることである。質問議員に対して、自分ならどのような突っ込み質問をするのかなどと、わが身に置き換えて、聞いていてもらいたいものだ。傍聴席から「ねぶかきしてるんでねえが」等と評価されないようなしゃんとした胸の張り方をしてほしい。

過去には、任期中一度も質問に立ったことのない議員もいたと聞いています。出席しているだけの議員は必要なのであるから、少数精鋭、積極的に議論していただきたいものである。鋭い質問、的

を得た質問は、関係課長や職員の識見・成長を、大きくするものである。過去のしきたりや慣習にとらわれない考え方がこそ大切なものと思われる。

特にこの任期の議員さんたちは、失礼ながら選挙で選ばれた方々ではないという自覚を持ち、十年先、三十年先に思いを馳せ、先見の明を以て職責を全うしていただきたい。

地方の時代が来るとはいわれるが、先取りをして、住みよい地域づくりのリーダーになってほしいものだと議場を後にした。



# 決定 消防飯豊分署の基本設計

## 一部事務組合

### 置賜広域行政事務組合

平成27年11月13日定例会を開催し、26年度各会計決算を認定、27年度一般会計補正予算手数料条例の一部改正など6議案を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

一般会計の補正予算は前年度からの繰越金確定に伴う構成市町村の分担金の減額等で357万円減の、39億7769万円になりました。

一般会計決算は、歳入31億4123万円歳出30億8423万円翌年度繰越額5699万円となりました。

手数料条例の改正はクリーンセンターに廃棄物を直接搬入する場合、処理量を10kg当たり30円上げて180円とするものです。

### 置賜広域病院組合

10月30日定例会を開催し、平成26年度病院事業会計決算と、27年度補正予算を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

減価償却費が増加。消費税の取り扱いが医業費用として処理されるなど、特殊増加要因が発生し、医業費損失額前年度比10億7400万円と大きく膨らみました。

決算では、診療収入単価が上昇し、患者数の減少に影響なく医業収益44%増になりました。

会計処理上損失が増加したものの、前年度なみの水準であり、経営努力が反映され概ね適正の監査意見でした。

### 西置賜行政組合

12月21日臨時会を開催し、条例の一部改正3件、一般会計補正予算を審査し、いずれも原案のとおり可決しました。

飯豊町の協議で、飯豊町の公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針により、地元木材を使用することになりました。

また11月20日消防飯豊分署基本設計の、指名競争入札を行い、株

### 編集後記

一昨年は、12月初旬からの大雪、早朝からの雪かき、屋根の雪下ろしと大変でした。

ことは暖冬、大雪で喜ぶ人、小雪を望んでいる人、さまざまです。雪国、本町にとっては、適度に雪が必要と思われます。議会活動が伝わる、議会だよりづくりに努めていきますので、ご愛読をお願いいたします。

(嶋貫記)

#### 発行責任者

議長 後藤恵一郎

#### 委員長

嶋貫 栄助

#### 副委員長

高橋 亨一

#### 委員

後藤恵一郎

鈴木 敏夫

古山 繁巳

遠藤 忠

